



## 子どもたちが本と なかよくなれるように

ダルンバンナライ  
子ども図書館  
プックさん

「マレットファンの周りの輝く人」。第3回はタイで初めての子ども図書館で働く、笑顔がすてきなプックさんです。



タイで初めての幼児向け図書館として2015年に開設したダルン・バンナライ図書館。子どもを意味する「ダルン」とライブラリーを意味する「バンナライ」は、シリントーン女王様が名付けられたそうです。100年前の伝統建築を改装したこの図書館は、さわやかなミントグリーンの壁ときれいな軒先の装飾が印象的。芝のお庭とカフェも整備して、親子が安心して過ごせる心地よい場所になっています。

### 好きな本を好きなところで読んでいい子ども図書館

笑顔がはじけるプックさんは子ども図書館のスタッフ。2年前にここでお手伝いを始め、昨年から職員として働いています。プックさんはまずはじめに、図書館が一番大切に

していることを教えてくださいました。「この図書館は子どもが自由に好きな本を手にとって、どこで読んでもいいし、ゴロゴロしながら読んでもいいんです」。

椅子に座って机の上で本を読む、というのが読書に対するこれまでの考え方。それは言い換えれば、椅子と机がなければ本は読めない、ということになってしまいます。いやいやそんなことはない、本は外で読んでもいいし、寝転んで読んでもいいし、遊びに行くときに持っていってもいい、本はいつでもどこでも読んでいいんだよ。それはこの図書館を運営するNGO、Books for Childrenの指針でもあります。

なんとすてきな図書館なんでしょう。ここの蔵書は4000冊、年齢別に部屋を分け、年齢にあった絵本を置いています。「棚に並べるのではなく、なるべく表紙が見えるように工夫して



子ども図書館は2階建てのタイ伝統建築。風が通って気持ちいい造りです。1階が図書スペースで、2階は事務所と貸し出し用スペースがあります。



手入れされた芝の庭では本を読んでも遊んでもいい。一角にはカフェもあり、親たちもくつろげる場所になっています。屋外でイベントを開催することも多いそうです。